



実践クラブ
北浦 守金 議員

問 島原道路の進捗状況

Q ①出平町から原口大橋間、②原口大橋から旧有明町境間、③島原道路全体の現状は。

A ①平成27年度までに測量、設計がおおむね完了し、28年度下期から用地交渉に着手すると聞いている。
②地権者の8割以上の測量同意を得て、順次測量に入っている。残りの方への測量同意を県と市が一緒になり進めている。
③現在事業中の工区は諫早インター工区、長野栗面工区、森山拡幅、吾妻愛野バイパス、瑞穂吾妻バイパス、出平有明バイパスの6工区である。

Q 島原道路の整備は島原市民の願いであるので、早期完成に向けて努力してほしいが、いつ頃から工事に入るのか。

A 原口大橋から有明町の大野線までのルート変更により有明地区の測

量同意が遅れているが、三会地区の出平から原口間は用地交渉の進捗次第で先行して工事に着手するよう県と相談している。

問 圃場整備の計画と進捗状況

Q 圃場整備が進められている①三会原第3地区と、②三会原第4地区の事業概要と事業費は。

A ①平成24年度から30年度までの工期で区画整理面積67ヘクタール、畑地かんがい面積88ヘクタールを総事業費26億3千万円で県営事業として実施中である。
②本年4月に事業採択され、平成34年度までの工期で区画整理面積87ヘクタール、畑地かんがい面積112ヘクタールを総事業費28億円で県営事業として実施中である。

【その他の質問項目】

◇銀水開店から今日までの現状について
◇ふるさと納税について



庶民の会
種村 繁徳 議員

問 眉山治山対策について

Q 大雨などにより砂防施設内に堆積している土砂は早急に排出する必要があると思うが市長の見解は。

A 主に7つの渓流があり、6月の大雨では大量の土砂が流れ出たが、流路疎通工や仮設導流堤の設置、砂防ダムの嵩上げなどを国や県において実施や計画がされている。

Q 6溪や7溪について、堆積土砂が見えていることなどから、住民の不安な声があるが、その対策は。

A 現地確認はしている。砂防ダムには大きな容量のポケットなどがあり、それを超えるということは想定されていないが、住民の不安解消に努めていきたい。

Q 土砂災害など、今まで経験したことがないことが起きている。早急な対応をしていただきたいと思うがどうか。

A 国では、熊本地震による九州内の被災国有林に長崎県では唯一、眉

山を位置づけている。指摘の件は、県を通じ国に申し入れをしていきたい。

問 農業振興について

Q 国の経済対策では、攻めの農業に対する支援策が組まれているが、本市の状況は。

A 融資を活用し機械や施設の導入を支援する事業に、12経営体から相談を受けている。

Q 基盤整備が進んでいない地区もあるが、有利な予算がある時に活用を考えると。

A 基盤整備は生産性の向上につながるため、有利な補助メニューを利用して進めていきたい。

Q ①長崎県干害急対策事業、②市の農業振興特別対策事業の事業内容は。

A ①水源から共同給水所までの水路の新設、水源施設の整備などの補助、②国、県の補助事業で整備した畑地かんがい施設の補修に対する補助事業である。

【その他の質問項目】

◇愛知県幸田町との交流の取り組みについて
◇選挙と投票率について